

みどりの風



2019年 良い年にして いきましょう。



千代太郎



私たちが大切にしたいもの
介護事業は人と人との関係の中で営まれ、よい関係の中でこそ発展します。
社会福祉法人悠朋会の活動に関わる全てのスタッフがこのことの大切さを認識し、
責任を持ってサービスを提供するために、ここに私たちの思いを表明します。

1. 私たちは、利用者を固有の歴史を持った個人として尊重し、あらゆる意味でその命と人生に敬意を持って接します。
2. 私たちは、利用者の主体性と可能性を信じ、サービスを通して多くの力と個性が発揮できるよう支援します。
3. 私たちは、利用者が安心感と自信を持ってサービスを利用できるよう、援助者としての暖かさと誠実さを大切にします。
4. 私たちは、職務上知り得た利用者の情報やプライバシーを尊重し、専門職として秘密保持に責任を負います。
5. 私たちは、利用者に対しいかなる差別も行わず、また、身体的、精神的な暴力、虐待及び拘束を行いません。
6. 私たちは、専門性を持った援助者としての研鑽に努めるとともに、苦情に対して誠実に受け止め良心と責任を持って対処します。
7. 私たちは、事業を通して地域福祉の課題を捉え、誰もが必要なときに必要な支援が受けられる地域社会の実現に努力します。
8. 私たちは、この事業の社会的な責任を鑑み、情報の公開に積極的に取り組むと共に事業の健全な運営と継続に努めます。

人・ひと日記

小林 功

2018年。どんな年だったでしょうか？
今年の出来事を思い出しみると、まずスポーツでは箱根駅伝で青山学院大が四連覇。横綱不振の大相撲で栃心の御嶽海、貴景勝がフレッシュ優勝。卓球、バドミントンや冬季オリンピックでの日本選手の活躍。一方アメフト、レスリング、ボクシング界等で指導者によるパワハラ問題が一気に表面化。猿山のボスのような人たちが大勢出てきました。政治の世界では森友家計疑惑が国民の気持を晴らすことなく安倍首相と周辺に逃げ切り勝ち。働き方改革、外国人労働者の受入れ法案が場当たり的なまま成立。米朝首脳会談が行われ世界中が注目。米中の貿易関係が戦争状態に。世界のビッグニュースには必ずトランプ大統領が登場。最年少藤井棋士の活躍。タイで洞窟からの少年たちの救出劇。あおり運転。オウム事件の幕引き。日産ゴーン会長の桁違いの不正。日本だけのことでなく「あ」と1・5度以内」に向けて温暖化対策を世界的に取り組むことの国際会議での確認。かけがえのない地球を次世代に伝える事。リミットは遠い将来の事ではなく、正に私たちの次の世代あたりに。
医療・介護報酬の同時改訂が行われ、地域包括システムの推進のなかで費用圧縮の方向性が強化されました。
個人的には家族の病気で自宅で生活を守っていくことの大変さを経験した年でもありました。疾病により身体機能を損ねること。それによる精神的なダメージ。費やされる労力と時間の損失。経済的負担の大きさ。・いつまでも健康でありたいものです。

身の回りのスピードがどんどん上がっています。「ボー！と生きてんじゃねえよ！！」とチコちゃんに叱られぬようにしたいと思っています。
新しい年が皆様にとってより良い一年となりますように。

発行 社会福祉法人 悠朋会
相模原市中央区千代田2-4-1

千代田デイサービスセンター	042-7501-0672
ヘルパーステーション千代田	042-7504-0261
千代田介護支援センター	042-704-0281
千代田相談支援センター	042-707-1434

ホームページアドレス

www.yuhokai-kaigo.com

大忘年会



2018年の1年間の締め行事は、毎年恒例の千代田の大忘年会。今年は職員と利用者さんが一緒になって参加し、楽しんでもらう事をコンセプトに行ないました。

忘年会でボランティアさん出し物から始まり、職員と一緒にハンドベルやカラオケでデュエット、皆でズンドコ節などを踊ったり、スクリーンでのスライドショーなどを鑑賞して、今年も楽しく1年を締めくくりました。



昨年の夏に急に左肩が上がらず強い痛みが、
... 四十肩？五十肩？でしょうか。普段ご利用者さんに色々と機能訓練を勧める立場ですが、まさか自分がやることになってしまうとは。リハビリはしっかりやった方が良いのは分かっていますが、なかなか継続して出来るものではなく、年を取り体が動かなくなっていくのを実感する機会となりました。今年は平成から年号が変わる年ですね。何という年号となり、どんな時代になるのでしょうか。

管理者 田島教次

12月の展示内容 「デイサービス書道展」



12月の展示はデイサービスの利用者さんの書道展を行いました。

見本を見ながら丁寧に書いたり、自分の好きな事を書かれたり、皆さんの思い思いの作品が飾られました。

市民交流スペースは無料で展示が行なえます。出展希望の方は千代田デイサービス 042-751-0672 まで



2018 年は 8 名の常勤、60 名以上のヘルパーで運営してきました。

おかげさまで介護保険事業、総合支援事業とともにご利用者の皆様の支持を受けまして、相模原市内随一の規模を誇る事業所となりました。

写真は去年行いました 12 月のヘルパー定例会（忘年会）の 1 コマ。

普段ヘルパーはそれぞれ別々のお宅でお仕事をさせて頂いているので、月一回行っている定例会で顔を合わせ交流し合い、親睦を深めております。この日も最高に盛り上がりました！

介護を取り巻く環境は、介護をする側される側、共に年々厳しくなっています。さらに今年は消費税もいよいよ上がりますね。そうした状況も乗り越えていながら、2019 年もますます利用者の皆さんと共に発展していきたいと意気込んでおります。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

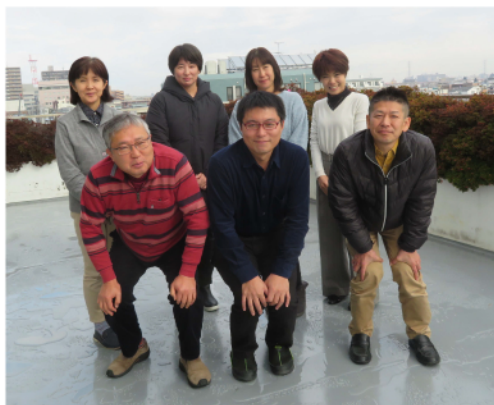
事業部長 小林充

1 月の予定

餅つき	1 日（火）
獅子舞	2 日（水）
初詣	3 日（木）～ 9 日（水）
体重測定	7 日（月）～ 13 日（日）
キーボードボラ	13 日（日）
書道	17 日（木）
交流会	21 日（月）、25 日（金）
イベント食	24 日（木）
シナプソロジー	24 日（木）
誕生会	25 日（火）～ 31 日（水）
民謡	29 日（火）



ケアマネジャー



千代田介護支援センターでは、現在7名のケアマネジャーが勤務しています。主任ケアマネジャーや相談支援専門員などの資格を持っている職員も多く、豊富な経験と知識に基づいてケアマネジメントをしております。我々は『頼りになるケアマネジャー』をモットーに、ご利用者様、各事業所の皆様、各機関と関わっています。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

管理者 志村章子

相談支援



旧年中は大変お世話になりありがとうございました。本年度より管理者を勤めさせていただきます。引き続きご指導下さいますようお願い致します。相談支援業務に就いて6年目となりますが地域との隔たりを感じております。

“隔たりのない生活”に向けて、まずは私達がご近所や商店、子供達、クリニックや交番などと積極的に関わりを持つ事が必要と考えます。また行政に向けて千代田相談支援センターならではの発信ができるよう努めて参ります。

管理者 渡辺真由美

いちばん星



4年目を迎えるいちばん星
私たちは、次のいちばん星の方針にのっとり今年もクラブを活性化し魅力あるクラブ運営に当たります

- ・子供たちが安心して帰ってくるところに！
- ・一人一人が生き生き過ごせるところに！
- ・夢中になれるものを探せるところに！
- ・仲間を思いやる心が育つところに！
- ・豊かな体験で心を育むところに！
- ・福祉体験を通して人と人との関係の大切さを学ぶところに！

今年も1年、どうぞよろしくお願いします。

いちばん星 加藤和代



悠々閑適と健康長寿を祈願して稲葉さんにダルマの左目に目入れをして頂きました。

力強い筆使いでダルマの目が入り、来年も元気で楽しくデイサービスに通えるようにと決意されていました。

自作の千代田デイサービスの歌も披露され、気分も高揚されていました。